

隠れた健康リスクに対応した保健事業で 命に関わる疾病の重症化から守り 健康寿命の延伸を図ります。

● 2019年度 対象別保健事業一覧

※赤字は2019年度の新規保健事業です。

		肥 満		非 肥 満	
		服薬なし	服薬あり	服薬なし	服薬あり
生活習慣改善プログラム	40歳未満	生活習慣改善プログラム Under40 ICT		—	—
	40歳以上	特定保健指導プログラム ICT	服薬者保健指導プログラム ICT	—	—
重症化予防プログラム	全年齢	重症化予防電話受診勧奨			
		オンライン禁煙プログラム ICT			
		糖尿病重症化予防プログラム	①軽中度(宿泊型) ②軽中度(タブレット貸与型) ICT		③軽中度(アプリ型) ICT
	心血管疾患発症予防プログラム	・軽中度 ICT		・中高度	
61歳以上	前期高齢者保健指導プログラム	・ロコモフレイル予防プログラム ICT		・薬局服薬者指導プログラム	

※肥満とは、腹囲（男性85cm以上・女性90cm以上）もしくはBMI（腹囲は基準値未満だが、BMIが25以上）に該当

※ICTとは、information and communication Technologyの略で、スマホ・タブレット・ウェアラブルなどを活用したプログラム内容を指します。

※服薬なしとは、[脂質] [血圧] [血糖]に関する薬を服薬していないという、健診時の問診票の自己申告に基づいています。

各プログラムの対象の方には、適時ご案内いたします。

対象別の健康促進プログラムで 自分で健康を維持できるライフスタイルへ

糖尿病重症化、
脳梗塞/心筋梗塞の再発防止

死亡原因となる疾病を
引き起こす喫煙対策

生活の自立度を維持し、
健康で生きがいのある生活を

- 糖尿病重症化予防プログラム・軽中度
[宿泊型/タブレット貸与型(ICT)/アプリ型(ICT)] 対象者各30人
- 心血管疾患発症予防プログラム・軽中度 (ICT) 対象者約110人
- オンライン禁煙プログラム (ICT) 対象者約1800人
- ロコモフレイル予防プログラム (ICT) 対象者約800人

● さらに疾病の早期発見・早期受診につながる、節目健診

● 節目健診項目の見直し

※赤字の項目は2019年度から新たに追加した項目

		2019年度 新40歳から3歳刻み H3コース	
	身長	●	
	体重	●	
	腹囲	●	
	BMI	●	
	肥満度	●	
眼科	視力	●	
	眼底検査	●	
	眼圧	●	
聴力	オージオメータ(1000/4000)	●	
循環器	血圧	●	
	心電図	●	
	心拍数	●	
消化器(いずれかを選択)	胃部X線撮影	●(※どちらか選択or施設で実施可能な項目のみ)	
	胃部内視鏡検査	●(※どちらか選択or施設で実施可能な項目のみ)	
腹部	超音波エコー	●	
呼吸器	胸部	胸部X線撮影(直接)※前・横	
	肺機能	1秒率	●
		%肺活量 %1秒量(対標準1秒量)	●
血液学	生化学	総蛋白	●
		アルブミン	●
		総ビリルビン	●
		GOT(AST)	●
		GPT(ALT)	●
	脂質	γ-GTP	●
		ALP	●
		総コレステロール	●
		HDLコレステロール	●
		LDLコレステロール	●
	糖代謝	中性脂肪	●
		空腹時血糖	●
		HbA1c	●
	腎機能	クレアチニン	●
		eGFR	●
一般	尿酸	●	
	赤血球数(RBC)	●	
	血色素量(ヘモグロビン)	●	
	ヘマトクリット(Ht)	●	
	血小板	●	
	白血球数(WBC)	●	
	赤血球容積(MCV)	●	
	赤血球色素量(MCH)	●	
	赤血球色素濃度(MCHC)	●	
	血液型(ABO型・Rh式)※省力可	●	
血清学	炎症	CRP ●	
	肝炎	HBs抗原 ※省略可 ●	
尿	尿糖	●	
	尿蛋白	●	
	尿潜血	●	
	尿沈渣 ※蛋白、潜血陰性時省略可	●	
便	便潜血反応2回法	●	
問診	特定健診問診	●	

呼吸のときの呼気量と吸気量を測定し、呼吸の能力を調べる呼吸機能検査や、肝臓、すい臓、腎臓に腫瘍があるか、胆のうに胆石などがないかを調べる腹部超音波検査など、検査項目を追加します。

動脈硬化、高血圧、糖尿病による眼の合併症や緑内障・白内障の有無などの状態を調べます。

心電図と心拍数は、心臓の状態を知る重要な検査で、ほぼ8割程度の確率で心臓病の症状を見つけられます。

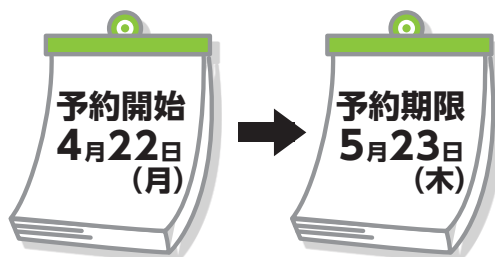
肝臓・すい臓・胆のう・腎臓・脾臓を観察し、これらの臓器の大きさ、形態、性状がどうなっているのか、また、がんなどの悪性腫瘍がないかを調べます。

呼吸のときの呼気量と吸気量を測定し、呼吸の能力を調べます。肺の換気機能を調べる基本の検査です。慢性閉塞性肺疾患(COPD)などがあるかを調べます。

尿中の赤血球、白血球などの細胞や結晶、細菌などを調べます。腎炎、腎臓や尿路の感染、腫瘍、結石などの疑いがある場合、精密検査が必要です。

● 節目健診申込フローの見直し

予約期限を設けることで、早期に医療機関の予約がとれ、受診機会の損失(受診したいのに予約できなかった)を防ぎます。



P8をご覧ください。